

養老川 事業再評価の趣旨

平成21年2月18日
養老川流域懇談会事務局

事業再評価を行う背景

- 長引く景気低迷
- 公共事業予算の減少
- 公共事業への関心の高まり
- 情報の透明性の確保
- 国民の環境回帰志向

◆時代のニーズに合うか？

◆他の方法はないの？

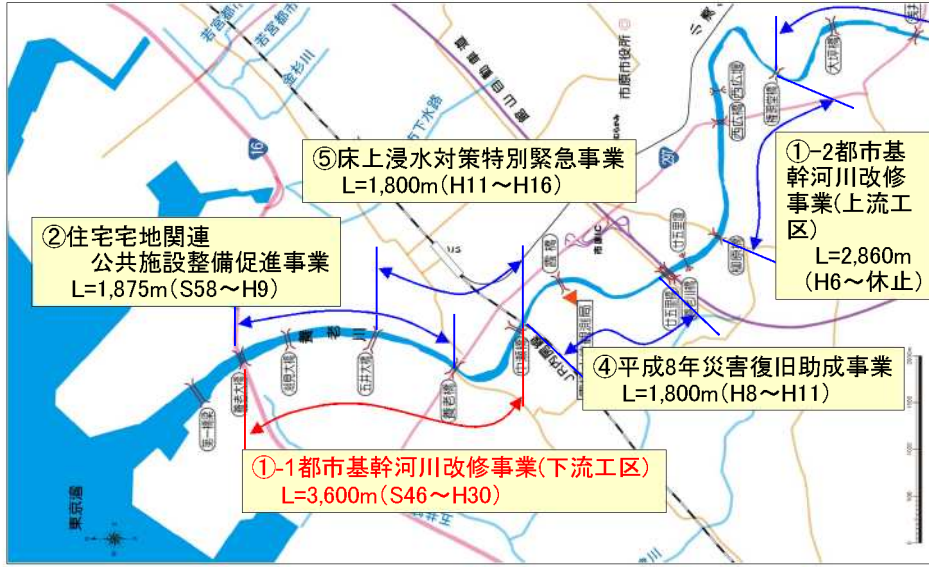
などの疑問に答える

公共事業を評価する仕組み



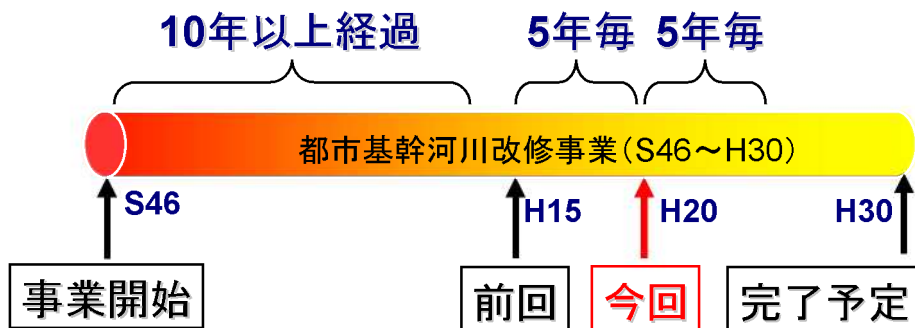
再評価対象事業

③平成元年災害復旧助成事業
L=13,700m(H元~H5)



3

事業再評価の時期



- [対象]
- ① 事業採択後5年経過して未着工
 - ② 事業採択後10年経過して継続中
 - ③ 再評価実施後5年経過した事業

4

事業再評価の審議者

平成10年策定 千葉県県土整備部所管
国庫補助事業再評価実施要領

河川事業・ダム事業で、河川整備計画策定のための
流域懇談会が設立しているかどうか？

ない

ある

評価監視委員会



流域懇談会

5

事業再評価の視点

- ①事業の進捗状況
- ②社会経済情勢等
- ③コスト縮減や代替案立案等の可能性
- ④事業の投資効果



審議



流域懇談会の結果に基づき河川管理者が判断

6